

## ● 受講のススメ

## コールセンターは秋田の地場産業にできます



八久保勝也さん

(株)プレステ - ジインターナショナル・秋田BPOキャンパス長

コールセンターの業務は会社によってさまざまです。製品に関する問い合わせへの対応だったり、各種手続きの受付だったり。消費者から電話を受けるのか、セールスなどの電話をかけるのかといった違いもありますので、まずは何をしている会社なのかを知りましょう。

電話を受けるオペレーターは、第一印象が重要ですから、明るくコミュニケーションできるかたがいいですね。口下手でも構いません。誠意を持って対応できるかどうかです。電話をかけてくるかたは、何かしら困っているわけですから、まごころが大事です。

良いサービスを提供していれば、秋田のコールセンターを利用する会社がさらに増え、地場産業として確立できると思っ

ています。一緒に頑張ってみませんか。

## 秋田のビジネス活性化のためにあるIT産業



近藤和生さん

(社)秋田県情報産業協会副会長 A DK富士システム(株)代表取締役

秋田地域雇用創造協議会のメンバーとして、今回のセミナーの人材育成メニューを作成しました。ソフトを製作する技術者だけでなく、ITを活用する技術者の養成講座も取り入れたのが特徴です。

さまざまな企業のために、ここで行われている事業の付加価値を高め、ビジネスチャンスを開発させるのが情報産業の仕事です。ですから、IT技術者の養成というのは、IT業界だけの話でなく、秋田のビジネス全体を活性化することにつながるのです。

このところ、秋田の企業は人材育成まで手が回らないところが多いので、今回の取り組みは企業にとっても良い機会です。秋田が元気を取り戻すチャンスだと思えます。ぜひこのセミナーを受講して、仕事のきっかけにしてください。



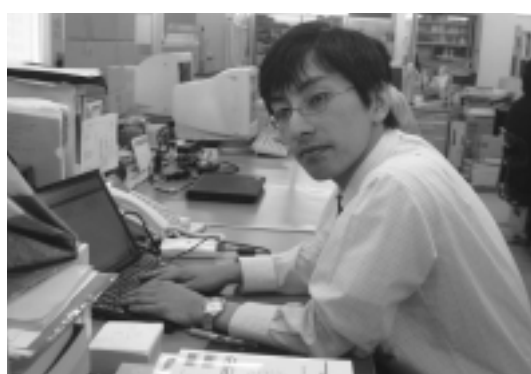
石塚香織さん(日本興亜損害保険(株)CRファクトリー)

...入社2年目ながら、電話対応するコミュニケーターたちをまとめる「サブ・スーパーバイザー」を務める

以前からコールセンターに興味があり、市のコールセンタースタッフ養成講座を受けたところ、人と接するのが好きな私に合っていると思いました。お客様がかかえる問題を解決したり要望に応えたりして感謝されたときのうれしさは最高。日々、達成感を味わえる仕事です。

「お客様からの  
ありがとう」が  
いちばんの喜び

がむしゃらに  
頑張っ  
てほしい



斉藤良夫さん(株)アキタシステムマネジメント・e-Bizネットワークチーム主任)...

システムエンジニアのキャリアは9年

企業のネットワーク環境の構築とセキュリティを担当しています。進歩が早く、常に勉強が必要で気が抜けない業界ですが、インターネットに地方のハンデはなく、秋田からでも世界に挑戦できます。入社したては物覚えが良く、吸収が早いと思います。その時期に、がむしゃらにやったことは絶対に無駄になりません。自分が選んだ道を信じて頑張ろう！



# 秋田市 姉妹都市 フォーラム 便り

市民の力で国際交流を進めていこうと設立された「秋田市姉妹都市フォーラム」。このコーナーでは、会員が取材した友好・姉妹都市の隠れた魅力、豆知識を紹介します。  
秋田市姉妹都市フォーラム事務局  
TEL(866)2033(企画調整課内)

平成4年1月22日交流合意都市提携  
米国アラスカ州の南部に位置  
人口約1万9千人  
時差 - 17時間  
日本から約12時間30分(飛行機で、成田 シアトル約8時間30分、シアトル アンカレジ約3時間30分、アンカレジ キナイ約30分)

## アラスカ州キナイ半島郡 (アメリカ合衆国)

### キナイ産の筋子が秋田の食卓に！

キナイ市にはキングサーモンの釣り場として名高いキナイ川が流れています。キナイ半島郡は水産業が盛んな地域でもあり、特に筋子は最高級品として日本に輸出され、秋田で食べられるアメリカ産「筋子」にもキナイ産のものがあるんです。



秋田中央卸売市場に入ってくるキナイ産の筋子

ご飯と一緒に食べるとおいしい筋子ですが、パンが主食のアラスカでは、筋子は食わずに捨てていました。キナイのかたの話では、それに着目した秋田の水産業者が加工方法などをキナイの人に教え、秋田に輸入するようになったそうです。キナイ産の筋子が秋田市民の食卓に並んでいるなんて、親しみがわきますね。

### 産業分野の新たな交流の可能性

キナイ半島郡からクック湾をはさんだ対岸にあるペブル鉱山。現在、採掘調査中の鉱山ですが、その埋蔵量は北米最大になると考えられています。ペブル鉱山で金や銅を含む鉱石が採掘されれば、アジアへ輸出し精錬することも考えているそうです。将来は、銅を通じた新たな交流が生まれるかもしれません。



試験採掘中の現場

アメリカのアラスカ州キナイ半島郡は、キナイ、ソルドトナ、スワード、ホーマー、セルドヴィアの5つの市とそのほかの小さな町や村で成り立っています。面積は秋田市の約720倍、人口は秋田市の約6分の1という地域です。キナイ半島郡の楽しい行事や、ちょっと意外なつながりを紹介します。



アラスカ州  
キナイ半島郡

### ソルドトナ市の一大イベント

ソルドトナ市が誕生した日をお祝いする行事「プログレスデイ・パレード」。毎年7月下旬、3日間にわたって開催され、メイン行事の大パレードには、人口約3,800人のソルドトナ市に、キナイ半島郡の住民やアラスカ州内外から約1万人の観光客が訪れます。

パレードに参加する車は消防自動車、レースカー、巨大なトラクターなどさまざま。チアリーダーや小学生がパフォーマンスを披露したり、団体や企業がPRを行ったりします。パレードの参加者は、車上からあめなどのお菓子を配りながら進みます。沿道で見ている子どもたちは、そのお菓子をもらうのも楽しみにしているそうです。



工夫を凝らしたパレードで  
観客を楽しませます



### ひろげよう！ 国際交流の話！和！輪！ あきた国際交流 フェスティバル



**日時** 11月3日(土)午前10時～午後4時  
**会場** アルヴェ 1階きらめき広場ほか

あきた国際活動民間団体ネットワーク加入団体の活動紹介ブースや在住外国人による母国紹介ブース出展。ラテンダンスやバグパイプ演奏などのステージパフォーマンスも。入場無料。異文化に触れる絶好の機会です！

**問い合わせ** 秋田県国際交流協会TEL(864)1181